HyperTerminal の使用方法

Version: A00



エイチエムエス・インダストリアルネットワークス株式会社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-19-5 新横浜第 2 センタービル 6F TEL : 045-478-5340 FAX : 045-476-0315

> <u>URL</u> www.anybus.jp

EMAIL セールス:<u>jp-sales@hms-networks.com</u> サポート:<u>jp-support@hms-networks.com</u>

ΕV	OLUTION OF THE DOCUMENT	3
1.	HYPERTERMINAL のインストール	4
2.	ANYBUS X-GATEWAY とパソコンの接続	4
3.	HYPERTERMINAL の実行	5
4.	ANYBUS X-GATEWAY との通信開始	. 7

EVOLUTION OF THE DOCUMENT

Issue	Date	Author	Motive and nature of the modifications
A00	2011/12/22	TAS	First release.

This document contains: 8 pages.

1. HyperTerminal のインストール

Anybus X-gateway のコンフィグレーションにはターミナルエミュレータを使用しての作業が 必要ですが、Windows XP 以前は標準でインストールされていた Microsoft HyperTerminal が Windows Vista 以降は標準インストールされなくなりました。そこで HMS では Web ページにお いてダウンロード可能なバージョンの HyperTerminal をお客様に提供しています。

HMS が提供している HyperTerminal は以下の URL からダウンロードすることができます。

http://www.anybus.com/upload/X-gateway%20and%20HyperTerminal.zip

ダウンロードしたファイルを解凍し、任意のフォルダに配置して下さい。 解凍したファイルの内容は以下の4個のファイルです。





hypertrm.dll 5.1.2600.2180 HyperTerminal Applet Library

Readme.pdf Adobe Acrobat Document 298 KB

この HyperTerminal にはインストーラは付属していません。解凍したファイルをそのまま実行ファイルとして使用します。

2. Anybus X-gateway とパソコンの接続

Anybus X-gateway 本体の Gateway Config コネクタとパソコンのシリアルポートコネクタを RS-232C クロスケーブルで接続して下さい。Gateway Config コネクタの位置は Anybus X-gateway の機種によって異なりますので本体の表示又はユーザーマニュアルでご確認下さい。 接続後、Anybus X-gateway に DC24V 電源を供給して下さい。

3. HyperTerminal の実行

1 項で解凍したファイルの中に「Anybus X-gateway.ht」というファイル名の Anybus X-gateway 接続用設定ファイルが含まれています。Anybus X-gateway に接続するために HyperTerminal を起動する場合はこのファイルを使用します。「Anybus X-gateway.ht」を開いて下さい。

お客様がお使いになられている Windows に「所在地情報」が未登録の場合には以下のようなダ イアログが表示されます。

所在地情報	? ×
	 電話またはモデムによる接続を行う前に、現在の所在地情報を設定する必要があります。 国名/地域名(W) 日本 市外局番/エリアコード(C) 45 電話ま社の識別番号 (指定する必要がある場合)(B) 外線発信番号(D) ダイヤル方法 トーン(T) パルス(P)

この「所在地情報」は Anybus X-gateway との接続には使用しませんが、HyperTerminal の起動 には必要な設定です。ここでは<u>市外局番</u>のみ入力して OK ボタンを押します。("45"は弊社日本オ フィスの所在地である横浜の市外局番です。)

所在地情報ダイアログを閉じると、以下のようなダイアログが表示されますので OK ボタンを 押して下さい。

電話とモデムのオプション	<u>?</u> X
ダイヤル情報	
下の一覧には指定した所在地が表示されています。ダイヤル元の 択してください。 所在地①: 「所在地 ○「所在地情報 45	所在地を選
¥6相(N) (君集(F))	EIIR@(D)
) (百日(A)

続いて HyperTerminal のメインウィンドウが開きます。

🏷 Anybus X-gateway – ハイパーターミナル	d feed and a stand for th	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送	(D) ~//7(B)	
-		
赛続 0:00:18 VT100 57600 8-N-1	SCROLL CAPS NUM キャ ゴコーを印	

「Anybus X-gateway.ht」を使用したことにより Anybus X-gateway に接続するための通信パラ メータが予め設定されています。

COM ポート	:COM1
通信速度	:57600 bps
データ長	:8 bits
パリティ	:なし
ストップビット	:1
フロー制御	:なし

但し、この初期設定では使用する COM ポートが COM1 に設定されていますので Anybus X-gateway を接続するポートが COM1 でない場合は変更が必要です。

使用する COM ポートを変更するには、まず切断ボタンを押して通信を切断します。



HMS JAPAN document. DUPLICATION or DISCLOSURE PROHIBITED without prior written consent.

プロパティボタンを押すと下図のようにプロパティダイアログが表示されます。

Anybus X-gatewayのプロパティ	? ×
接続の設定 設定	
Anybus X-gateway アイコンの変更 Ø	
国/地域番号(<u>C</u>): スウェーデン(46)	
長距離の接頭番号なしで市外局番を入力してください。	
市外局番(E): 035	
電話番号(P):	
接続方法(N): COM1	
☑ 国/地域手号と COM3 TCP/IP (Winsock) ■ 通話中すらリダイヤルする(E)	
OK \$#721	ยน

<u>接続設定</u>が初期設定の COM1 になっていますので、お客様の環境に合わせて COM ポートを選択して下さい。設定完了後、<u>OK ボタン</u>を押してプロパティダイアログを閉じて下さい。

4. Anybus X-gateway との通信開始

ここまでで HyperTerminal を使用するにあたって必要な設定は完了しましたので、Anybus X-gateway との通信を開始します。

3 項で COM ポートを変更するために通信を切断した場合も切断していない場合も、ここからの手順は同じです。

Anybus X-gateway - ハイパータ・ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(D)(C2) の) ② = D)(E) P)	ミナル
切断 VT100 57600 8	N-1 SCROLL CAPS NUM 序中 II一卷印

上図の状態で ESC キーを押して下さい。

ESC キーを押すと下図のように Anybus X-gateway 設定用のメインメニューが表示されて通信が正しく開始されたことが確認できます。

Anybus X-gateway main menu 1 - Show gateway system information 2 - Show fieldbus system information 3 - Show gateway system configuration 4 - Show fieldbus system configuration 5 - Operating status information 6 - Change configuration 7 - Configuration upload/download 8 - Restart Gateway A - Administration mode >_	
接続 002:12 VT100 57600 8-N-1 SCROLL CAPS NUM 序々 ゴコーを印	

以上

本ドキュメントに記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標で す。なお本文では「™」、「®」は明記しておりません。